

平成 27 年 12 月 18 日

各 位

京 都 女 子 大 学

京都女子大学のメールサーバへの不正アクセスについて

本学教職員のユーザ名とパスワードが第三者に利用され、多数の迷惑メールが送信されていたことが判明しました。

関係者の方々にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げるとともに、当該事案の概要についてお知らせいたします。

1. 不正アクセスの経緯

不正アクセスが行われていた期間

平成 27 年 12 月 10 日 0 時 22 分～17 日 16 時 37 分

不正アクセスにより生じた被害

本学教職員のアカウント（3 名分）を利用した本学メールサーバへの不正アクセスが約 2700 回あり、約 39000 通の迷惑メールが送信されました。

なお、本学が保有するデータ等の漏出や、その他の情報システムへの侵入、情報改竄・漏洩等は認められていません。

緊急対応について

平成 27 年 12 月 17 日 0 時

本学ネットワーク管理責任者が当該事案に気づき、本学総務部情報システムセンターに調査を依頼しました。

平成 27 年 12 月 17 日 16 時 40 分

情報システムセンターの調査により不正アクセスが判明し、当該 3 アカウントのパスワードを変更して利用停止措置をとりました。

2. 今回の事案への対策

不正アクセスに利用された 3 アカウントそれぞれの保持者に対し、嚴重注意を行うとともにパスワード漏洩の原因を究明するための事情聴取を実施しました。

また、本学教職員・学生に対してパスワード管理の嚴重化を求める注意喚起を行いました。

本学は今回のような事態を再び起こさないよう教職員および学生を教育するとともに、不正アクセスを阻止するための技術的対策を講じ、再発防止に努めてまいります。

以 上